

人権問題啓発誌

第10号

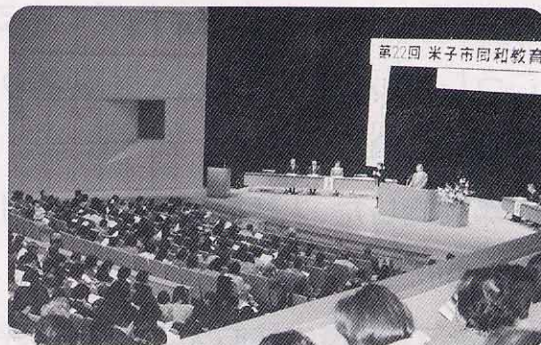
心ゆたかに

—部落差別をはじめあらゆる差別をなくするために—

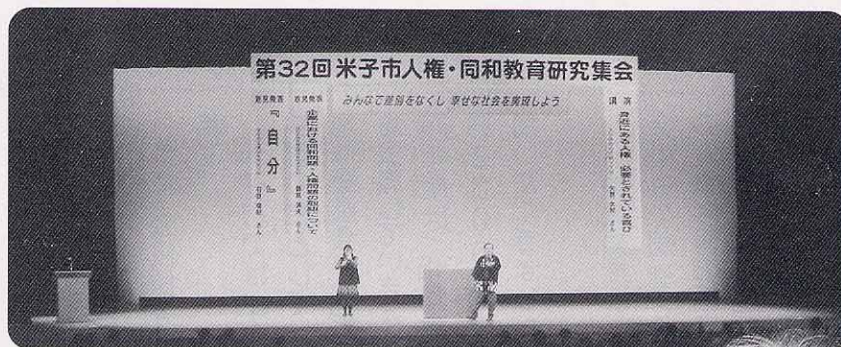
平成20年12月1日米子市市民人権部人権政策課 TEL(0859)23-5415



第6回研究集会(昭和56年1月)



第22回研究集会(平成9年1月)



第32回研究集会(平成19年1月)

平成21(2009)年
1月22日(木)

第34回米子市人権・同和教育研究集会が開催されます

いのちの大切さ、自分自身を肯定的にとらえる感情(自尊感情)、さまざまな個性や生活背景をもつ人と人とのつながり。これらは人が幸せに生きていくために大切なものです。

こうした、大切なものが軽視される事件が、日々、社会の中でおこっています。

人間が幸せに生きていく上で必要不可欠な「人権」を大切にする、人権教育の取り組みは幼稚園・保育所・学校・地域・職場などあらゆる場面で行われており、更なる充実が求められています。

米子市での人権教育の取り組みの実践発表の場である、「米子市人権・同和教育研究集会」は、今年度で34回目を迎えます。「みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう」をテーマに、平成21年1月22日(木)に開催されます。多くの方のご参加をお待ちしております。(研究集会の詳細は4ページをご覧ください。)

人権尊重社会の実現をめざして

平和で平等な社会の実現は、すべての人々の共通の願いです。「人権」はこれからの社会を豊かにしていくための重要なテーマです。

米子市では、子どもや高齢者、女性、同和地区関係者、障がい者、外国人、病気にかかった人などの人権を尊重し、すべての市民が、現在はもちろん、将来も、安心して、自信をもって、自由に生活できる社会づくりをめざしています。

こうした、人権尊重社会の実現をめざして、あらゆる場面で人権教育の取り組みが進められています。

昨年実施した、人権問題市民意識調査からは、大人の人権学習の充実の必要性が明らかになっています。

親として、地域に住む大人として、子どもたちに正しい知識を伝えるためにも、人権学習の場に参加し、一人ひとりができることを考えてみませんか。

大人の学びの場（小地域懇談会）

大人の人権学習の場として、みなさんはどういうものをイメージされますか。

PTAや企業での人権学習（人権研修）も積極的に行われています。

また、公民館等での人権講座に参加されている方も多いと思います。

米子市では、大人の人権学習の柱として、人権教育地域懇談会（小地域懇談会）を実施しています。

昨年度は、85回開催され、約2300人の方にご参加いただきました。

小地域懇談会は、各自治会単位で開催される、大人の人権学習の場です。

みなさんがお住まいの地域で小地域懇談会が開催される際には、ぜひご参加ください。



小地域懇談会の中から

小地域懇談会にご参加いただいた方から「もう部落差別はなくなった」という意見がでることがあります。

今までの同和教育の取り組みなどの成果もあり、明らかな差別発言などの差別事象は以前に比べると少なくなってきました。

しかし、部落差別に関する意識面での課題は、市民意識調査からも依然として残っており、差別事象も実際におこっています。

実際におこった差別事象

● 結婚に関する差別発言(平成19年8月)

市内の企業の従業員間で、同和地区出身者との結婚に関して、部落差別を理由に結婚を批判する内容の差別発言がありました。

● 部落差別に関する落書き(平成20年8月)

米子市立図書館周辺で、部落差別に関する差別落書きが連続して発生しました。

この2件以外にも、市内で部落差別に関する差別事象が数件報告されています。部落差別は、昔・遠くであった問題ではなく、今・私たちの住む街で実際に起こっている問題です。

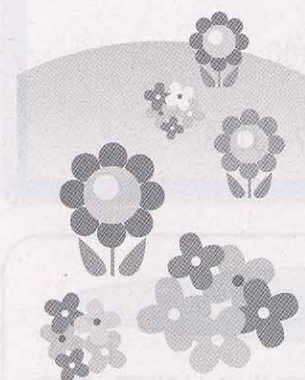
心ゆたかに生きるために

過去に行われた人権問題市民意識調査の結果と昨年の調査結果を比較すると、人権意識は確実に向上していることが明らかになっています。これは、学校教育や社会教育での人権教育の成果ではないでしょうか。人権教育の成果は、一朝一夕にあらわれるものではありませんが、継続した地道な取り組みがこれから10年先・20年先の社会を創っていきます。

今までの取り組みの中で、「差別をしてはいけない」という意識にとどまらず、一人ひとりの生き方を見つめ直し、人間としてより豊かな生き方をしようとする人の輪は確実に広がっています。

昨年の人権問題市民意識調査の自由意見欄に、記載のあった市民の方からの「ご意見を下欄に紹介させていただきます。」

私たち一人ひとりが、実践できることのヒントがあるのではないのでしょうか。



人権問題に関する自由意見(市民意識調査から)

- 親が子どもがそれぞれに勉強をしている。家庭内で人権問題について話し合う機会をもっと増やしていきたい。
- 子どもの頃から周りの大人の差別的な発言を聞くことがあり自然と身についたものがありますが、学習することで一人ひとりの人権は守らなければならないと考え、努力してきました。多くの人に助けられ生活している事への感謝を忘れず人間は誰も平等であるということを認識し生活できるような米子市になることを願います。
- 知人に実際結婚差別がありました。結婚差別が悲しいことであることをみなさんにわかってほしいです。
- 一人ひとりが人権意識をもつことが大切だと思います。何が正しいのか、何が差別なのか。無関心ほど怖いものはありません。

《世界人権宣言60周年》育てよう 一人一人の 人権意識
～思いやりの心・かけがえのない命を大切に～

国連で、世界人権宣言が採択され今年で60年を迎えます。日本では、昭和24(1949)年から、毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)を「人権週間」と定めています。今年度の第60回人権週間では、表記の啓発活動重点目標を掲げ啓発活動を行っています。(法務省主催)

第60回人権週間 強調事項

- 女性の人権を守ろう ● 子どもの人権を守ろう ● 高齢者を大切にする心を育てよう
- 障害のある人の完全参加と平等を実現しよう ● 部落差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう ● 外国人の人権を尊重しよう
- HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう ● 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害は止めよう ● 性的指向を理由とする差別をなくそう
- ホームレスに対する偏見をなくそう ● 性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう ● 人身取引をなくそう

よなごの人権フォーラム '08(人権週間フォーラム同時開催)

演題:「高齢者の人権」～最期まで人として尊重されるために～

講師:江村利雄さん(前 大阪府高槻市長)

日時:平成20(2008)年12月7日(日) 13:30～15:00

場所:米子コンベンションセンター多目的ホール

問い合わせ先:米子市人権情報センター 電話0859-37-3183

第34回米子市人権・同和教育研究集会

「みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう」をテーマに、市内の幼稚園・保育所・学校・PTA・地域・職場での人権教育の取り組みについての実践発表が行われます。全体会では意見発表や記念講演もあります。参加は無料で事前申込みの必要はありません。米子市内での人権教育の取り組みを知るよい機会ですので多くの方のご参加をお待ちしております。

日時:平成21(2009)年1月22日(木) 午前 全体会(意見発表・記念講演)

9:20開会 午後 分科会(就学前・学校・PTA・地域・職場等の7分科会)

場所:全体会:米子コンベンションセンター多目的ホール

分科会:米子コンベンションセンター・米子市文化ホールの7会場

記念講演

演題:「ぬくもりを感じて」 講師:中倉茂樹さん(徳島県人権・同和教育講師団)

意見発表 高校生・PTA

問い合わせ先:米子市人権政策課 電話0859-23-5415